

拜啓 立て続けに返事を送って、ごめんなさい。びっくりさせたわね。私もこんなふうにもまた手紙を書くなんて思っていないなかつたら驚きだわ。じゃ、どうして書いたのかと思うかもしれないけど、あんな返事しか送れないのが嫌だったから。きつと、あれを読んでいる花陽も快く思っていないでしょう？ 久しぶりなのに、沢山書きたいことがあったのに、どうしてあんなことしか書けなかつたのかしら。大人になつたら自分の伝えたいことを伝えられる、賢い人になると思っていたのに、これ。子供の頃と何も変わっていない。

変わっていないといえ、私、こつちでもピアノを弾いているのよ。知らなかつたでしょう？ 別々の道を歩む時は弾けなかつたから当然かしら。でも、大丈夫。あの時のように目一杯の時間は弾けないけど、休みの時とかちよつと時間がある時とか、弾くようにしているわ。下手になつてはいるけど、自由だわ。音楽って、幸せね。

帰国した時には、また昔みたいに歌でもどうかしら？ 勿論、花陽の都合さえ良かつたらだけど。

長々と書いてごめんなさい。それじゃ、またね。かしこ

一月十五日 西木野真姫

小泉花陽様

追伸 少し早いけど、この手紙を読んでいる頃には、花陽の誕生日になつているかもしれないわね。過ぎてはいるかも……。誕生日、おめでとう。これからの一年が良い一年であることを、祈っているわ。